

その名の通りクリスマスの時期に咲く品種。

< 植物名 >

ベゴニア

クリスマスベゴニア、冬咲きベゴニア

水やり

土の表面が乾いたら水やりを。

置き場所

日当たりの良い場所へ。

用土肥料

開花中はリン酸分が多めの肥料を与える。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

種まき、挿し木

冬越し

秋から春は室内の日当たりの良い場所へ。

使い方 鉢植え、ハンギングバスケット

学名 Begonia

英名 Christmas begonias

属名 シュウカイドウ

科名 シュウカイドウ

性状(分類) 多年草

原産地

花の色 白、ピンク、紅

開花期 冬

購入時期

草丈 30 ~ 50 cm

ID 172

季節 冬

JFコード 55140



冬越しと置き場所

日光を好み、日照不足になると花もちが悪くなる。秋から春は室内の日当たりの良い場所に置き、霜の恐れがない季節には、戸外で十分日光を当てるようにする。ただし真夏は風通しの良い半日陰に置く。

その他の解説

開花中は、リン酸分が多めの肥料を与えると、花つきがよくなり長期間楽しめる。

特徴1

小さな小花をたくさん咲かせる。土の表面が乾いたら水やりを。ただし、冬場は乾かし気味に管理する。水のやりすぎは根を傷めるので要注意。

特徴2

ベゴニア属は約2000種あると言われ、膨大な数の園芸品種があり、茎や根の形態によって木立性、根茎性、球根性の3タイプに分けられる。クリスマスベゴニアはその名のとおりクリスマスの時期に咲く品種で、小さな小花をたくさん咲かせる。